

# 感染状況・医療提供体制の分析(3月16日時点)

【岡山県専門家有志】  
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (3月9日時点)	現在の数値 (3月16日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	3607人 (192.2人)	3241人 (172.7人)	→	<p><b>総括コメント</b> レベル4. 感染縮小の兆候があるが特別な警戒が必要</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり173人</u>と微減。新規陽性者における10代以下の割合は高い水準が続く。 重点措置区域の適用が解除され、繁華街の夜間滞留人口は上昇中。新規感染者の減少傾向は弱く、しばらくの間、新規感染者数が高いレベルで推移していくことが予想される。新年度に向けて、人が移動する機会が増える。リバウンドを防ぐために、基本的感染対策の徹底が必要。</p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	391人 (11%)	251人 (8%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	1897人	1816人	→	
		県南西部	1355人	1111人	→	
		高梁・新見	13人	13人	→	
		真庭	63人	54人	→	
	市中潜在・ ③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	1021人 (調査中を除く)	888人 (調査中を除く)	→	
割合 (③/①)		37.4% (調査中を除く)	37.2% (調査中を除く)	→		
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	228人 (41%)	147人 (27%)	→	<p><b>総括コメント</b> レベル3. 体制逼迫状態は緩和の兆候があると思われる</p>	
	⑤宿泊療養者数	125人	105人	→	<p>宿泊・自宅療養者数や入院患者数は緩やかな減少傾向。当面は、軽症・中等症の医療提供体制等のひっ迫は続くと思われる。</p>	
	⑥自宅療養者数	3790人	3409人	→		
	⑦重症者数	5人	5人	→		